第108期中間

2023.4.1 - 2023.9.30

株主の皆様へ

特集

ASEANを拓く

マレーシア印刷会社を子会社化

次世代経営人財の育成

若手中堅社員による新たな取り組み

朝日印刷株式会社

証券コード：3951

トップメッセージ

「挑戦」と「不易流行」の精神で 200年企業へ 新たな第一歩を

代表取締役社長 朝日 重紀

Q1 2024年３月期第２四半期の業績について教えてください

当第２四半期連結累計期間の業績は、国内においては、中期経営計画AX2024の推進、社会経済活動の回復により主力事業である印刷包材事業が堅調に推移したものの、医療用添付文書の電子化による受注の減少に加え、人件費、原材料、エネルギーコスト等の費用の増加により、増収減益となりました。国外においては、海外子会社（シンニッポン社・ハーレイ社）における医薬品包材の受注が大幅に増加したことにより、増収増益となり、グループ全体の売上高は208億84百万円（前年同期比5.4％増）、営業利益は13億15百万円（前年同期比12.4％増）、経常利益は14億22百万円（前年同期比9.7％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億69百万円（前年同期比13.3％増）となりました。

Q2 本年10月にマレーシア印刷会社のM&Aを実施しましたが、今後の展望を教えてください

中期経営計画AX2024で掲げる「海外事業推進」の取り組みの一環として、マレーシア・ペラ州に本社・工場を有する印刷会社Kinta Press&Packaging（M）Sdn.Bhd.（以下「キンタ社」）を子会社化いたしました。

当社グループの海外事業戦略として、まずはASEAN市場へリソースを集中し、事業を展開して

まいります。マレーシアを成長市場と見込む一方で、中国や大手グローバルの印刷会社の参入が始まり、今後ますます競争が激しくなることが予想されます。

このような環境の中、マレーシア南部に位置し医薬品包材に特化した既存子会社シンニッポン社・ハーレイ社に加え、マレーシア北部に位置し化粧品包材等の高加飾の印刷に強みを持つキンタ社をグループに迎えることで、マレーシア全土において、医薬品・化粧品包材を網羅的にカバーするとともに、日本国内を含むグループ全体でのシナジー創出を図り、ASEANにおける印刷包材オンリーワン企業を目指してまいります。

3P 特集 ASEANを拓く

Q3 株主還元について教えてください

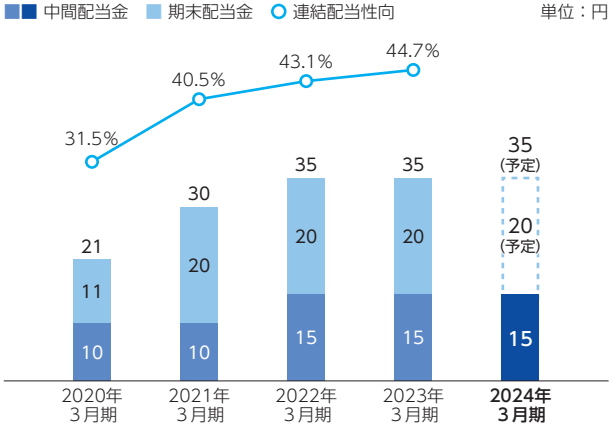
株主還元につきましては、株主の皆様への安定的な配当の継続を基本としつつ、これに加え業績に応じた成果の配分を実施し、「連結配当性向40%以上」を掲げております。

2023年度の中間配当は、１株につき15円とさせていただきました。期末配当予想は１株当たり20円としており、年間配当予想は35円となります。

また、2023年11月から2024年５月までを取得期間とする、取得株式総数47万株（上限）、取得価額総額４億円（上限）の自己株式の取得並びに上記により取得した自己株式の消却を実施いたします。

今後も資本効率と財務健全性等を勘案しながら、引き続き株主還元の充実に努めてまいります。

１株当たり配当金の推移



【最後に、株主の皆様へメッセージをお願いします】

当社グループは「包むこころを大切に　新たな第一歩を」を合言葉に、「美と健康」に関する事業を調和させ、未来に向けて継続し社会的使命を果たすことで、お客様と社会に貢献し、200年企業に向け歩んでまいります。

中期経営計画AX2024は当上期でちょうど半分を終え、折り返しを迎えました。今後もAX2024の達成に向け、策定した５つの戦略の取り組みをさらに加速させ、企業価値の最大化を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ASEANを拓く

マレーシア印刷会社を子会社化

経営戦略部 海外事業推進担当
町 晋太郎

2023年10月マレーシア・ペラ州に本社・工場を有するパッケージ・ラベルの製造メーカーKinta Press＆Packaging（M）Sdn.Bhd.（以下「キンタ社」）の株式65％を取得し子会社化いたしました。

－担当者コメント－

キンタ社と当社とのつながりは、さかのぼること2016年からとなります。

縁あって工場を視察した際より、キンタ社はマレーシアでも屈指の印刷加工技術を持つ素晴らしい会社と認識しておりました。朝日印刷グループとキンタ社は共に難易度の高い印刷包材に挑戦し続けてきた背景があり、マレーシアからASEANのオンリーワン企業を目指してこのたび共に歩んでいくこととなりました。

化粧品包材に強みを持つキンタ社と医薬品包材に特化したマレーシア既存子会社であるシンニッポン社・ハーレイ社および日本国内の朝日グループ各社によるシナジー効果を最大限発揮することで、ASEANのお客様へも安心・安全な製品を提供してまいります。

ASEAN 医薬品化粧品包材市場 シェアの確立

朝日印刷グループとの連携

海外子会社との連携強化による
海外事業の推進

グローバル企業　マレーシア日系企業

営業提案活動

マレーシアでの製造・営業活動

キンタ社の特徴・強み

- 幅広い製品群、ユニークな仕上げ、付加価値の高い機能・工程
- 先進のマシンテクノロジーによる包括ソリューションの提供
- プレミアムセグメントの顧客への高付加価値製品の提供

https://www.kintapress.my

次世代経営人財の育成

若手中堅社員による新たな取り組み

社員の意見を経営に反映していく目的と、若手中堅社員の人財育成を目的として、中期経営計画AX2024スタート時に会社の新たな取り組みとしてジュニアボード※を導入しました。若手中堅社員が社内の経営課題の解決策を社長と話し合いながら議論をし、役員会にも提案を上程しております。

また次世代の経営人財の育成を目指した取り組みとして、経営的な視点を身につけるための課題の分析や経営戦略の策定方法の学習をしております。

※ジュニアボード＝若手、中堅社員で構成される模擬役員会

営業本部大阪営業一課　**橋本 知帆**

会社の未来を考え、課題解決へと向かうプロジェクト

ジュニアボード参画当初は、自分に務まるのか？と不安がありましたが、それ以上に「今起きている会社の課題をただ見ているだけではなく、解決したい」という想いで挑戦しました。

任期２年目となり、部署の垣根を越えたディスカッションを通じて、身の回りだけでなく会社全体の課題が見えてきたように感じています。そしてこの活動が、「朝日印刷グループで働くことが幸せ」と誰もが思う会社へ成長する第一歩になればと思っております。

若手～中堅の意見を経営に反映できる場

ジュニアボードでは、他部署の方の多種多様な意見を聞き、改めて全部署が同じベクトルに向かって進んでいくことの必要性に加え、会社が成長していくために「自分ができることは何かを考える」意識改革と今後の会社への期待感が生まれました。

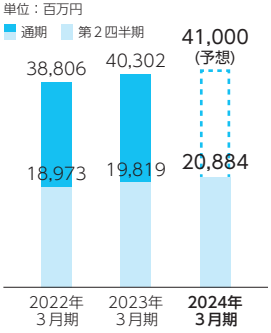
会社の今について議論し、今後どうなっていきたいかを真剣に考え、発言できる場を頂いたので、今後会社を担っていく世代として意見を発信し、より良い会社になるよう責任感を持って参加していきたいと思っております。

営業本部メーク営業部　**木本 直哉**

連結業績ハイライト

売上高

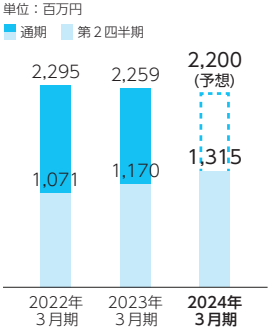
208億84百万円



前年同期比
5.4%
増

営業利益

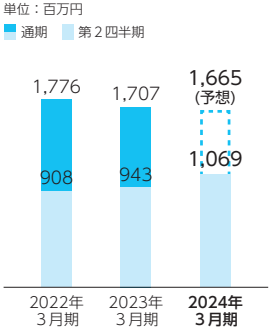
13億15百万円



前年同期比
12.4%
増

親会社株主に帰属する四半期純利益

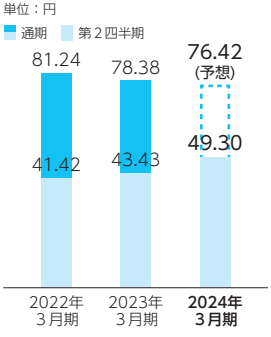
10億69百万円



前年同期比
13.3%
増

１株当たり四半期純利益

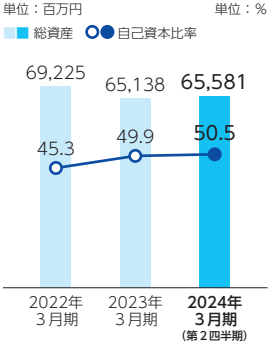
49.30円



前年同期比
13.5%
増

総資産／自己資本比率

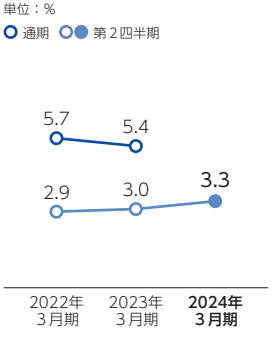
自己資本比率 **50.5%**



前期末比
0.6pt
増

自己資本利益率（ROE）

3.3%



前年同期比
0.3pt
増

印刷包材事業

売上高
19,782百万円　前年同期比 9.5%増

セグメント利益
4,710百万円　前年同期比 7.4%増

当社グループの主たる事業
主に医薬品市場、化粧品市場向け製品の製造・販売

＜上半期のPoint＞
・国内：中期経営計画の推進、社会経済の回復による、一般用医薬品向け製品・化粧品向け製品の受注増加
医療用添付文書の電子化による添付文書の受注減少
・国外：海外子会社における高い品質管理と営業活動強化による大幅な受注増加

包装システム販売事業

売上高
851百万円　前年同期比 45.2%減

セグメント利益
149百万円　前年同期比 27.1%減

印刷包材とそれを包装する機械の提案販売活動
さらに包装機械だけにとどまらずその前工程である充填機械を含めたトータルな提案販売活動

＜上半期のPoint＞
・前年同期に大型案件の売上があったことによる売上減少
・計画対比、概ね計画通りに進捗

人材派遣事業

売上高
250百万円　前年同期比 26.7%増

セグメント利益
58百万円　前年同期比 24.9%増

当社グループのみならず地域企業からの求人を受けて人材派遣

＜上半期のPoint＞
・社会経済活動の回復による人材派遣ニーズの増加
・富山県内各地でのお仕事相談イベントの実施
・新規のお客様との取引の強化

会社情報

会社の概況 (2023年９月30日現在)

会社名	朝日印刷株式会社
本社所在地	〒930-0061 富山県富山市一番町１番１号 一番町スクエアビル
創業	1872年
設立	1946年５月
資本金	2,228百万円
従業員数（連結）	1,702名 （有期社員・パートおよび派遣社員は除く）

役員 (2023年９月30日現在)

取締役・監査役

代表取締役会長	朝日 重剛
代表取締役社長	朝日 重紀
取締役副社長	広田 敏幸
常務取締役	野村 良三
常務取締役	佐藤 和仁
取締役	西田 良弘
取締役	塚田 武
取締役	佐々木 昌太郎
取締役	保木 秀之
取締役	若林 和人
取締役（社外）	高田 忠直
取締役（社外）	水波 悟
常勤監査役	広瀬 達也
常勤監査役	神島 丈嗣
監査役（社外）	桶屋 泰三
監査役（社外）	古澤 昌彦
監査役（社外）	釣 長人

株式の状況 (2023年９月30日現在)

発行可能株式総数	86,000,000株
発行済株式の総数	23,284,929株
１単元の株式数	100株
株主数	5,406名

ホームページに決算情報など、最新の情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

https://www.asahi-pp.co.jp/

表紙撮影：製品企画部　魚谷俊郎
題　：青の光

株主メモ

事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	６月
配当金	期末配当金受領株主確定日 ３月31日 中間配当金受領株主確定日 ９月30日
基準日	定時株主総会については３月31日。そのほか必要ある時はあらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL　https://www.asahi-pp.co.jp/ （ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。）
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目３番３号
特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株式事務のお問い合わせ先	みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 （土・日・祝日を除く ９：00～17：00） 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 （土・日・祝日を除く ９：00～17：00）

株主の皆さまの声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。

https://koekiku.jp

アクセスキー　39516T4i

スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」
koekiku@pronexus.co.jp

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK

UD FONT